

植物関連雑誌のタイトル紹介

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-08-30 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: Nakata,, Masashi メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/00055256

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



植物関連雑誌のタイトル紹介

(括弧内は頁数を示す。雑誌によっては編集部で植物関係のもののみ選択した。)

- 千葉県立中央博物館自然史研究報告 第5巻第2号 1999年3月
(〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2 千葉県立中央博物館)
原田 浩：日本初記録の地衣類 *Thelenella luridella* (英文) (91-95) / 原田 浩・成井孝雄・C. F. カルバ
ーソン・柴田承二：*Diploicia canescens* (スミイボゴケ科地衣類) の日本における再発見 (97-101)
- Natural History Research 第5巻第2号 1999年3月
(〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2 千葉県立中央博物館)
原田 浩：千葉県産地衣類の1新種, *Anisomeridium japonicum* (英文) (53-56) / 原田 浩・A. Vêzda, :
日本産コザラゴケ属地衣類2種の分類学的検討—千葉県産の一新種 *Gyalidea kawanae* の新種記載, および
Gyalidea pacifica について— (英文) (57-62) / 中西 稔・原田 浩：マリアナ諸島産のモジゴケ属地衣類
の5新種 (英文) (63-71) / 天野 誠：ネパール, アンナプルナ・ヒマール産シオガギク属 (ゴマノハグ
サ科) の細胞分類学的研究 (英文) (73-78)
- 国営武蔵丘陵森林公園都市緑化植物園調査研究報 第3巻 1999年3月
(〒355-0802 埼玉県比企郡滑川町山田1920 財団法人公園緑地管理財団武蔵管理センター都市緑化植物園)
久富 学：野生草花育成草刈に関する調査 (その2) (5-15) / 久富 学：野生草花の花修景材料としての活
用に関する調査 (その2) (17-23) / 久富 学：ヤマユリ未着花個体の経年変化 (1年後) 調査 (24-25) /
斎藤真悟：野生植物の種子発芽に関する調査研究 (27-37) / 斎藤真悟：野生植物の繁殖に関する調査研究 (そ
の2) (38-50) / 菊地 賢：国営武蔵丘陵森林公園におけるヤマユリの生育調査および増殖法についての研
究 (51-59) / 菊地 賢：邦産ムラサキの栽培記録 (66-68)
- 東京都高尾自然科学博物館研究報告 第18号 1999年3月
(〒193-0844 東京都八王子市高尾町2436 東京都高尾自然科学博物館)
森廣信子・磯谷達宏・島田和則・中 涼子・野上圭子：雲取山北東面の落葉広葉樹林 (1) 森林構造の概要 (1
-10)
- 神奈川県立博物館研究報告 自然科学 第27号 1998年3月
(〒250-0031 神奈川県小田原市入生田499 神奈川県立生命の星・地球博物館)
田中徳久：横浜市保土ヶ谷区のカザグルマ群落について (93-94)
- 神奈川自然誌資料 第19号 1998年3月
(〒250-0031 神奈川県小田原市入生田499 神奈川県立生命の星・地球博物館)
田中徳久・勝山輝男・木場英久・高橋秀男：小田原市入生田吾性沢地区の森林群落 (79-88) / 高橋秀男・勝
山輝男・木場英久・田中徳久：小田原市入生田吾性沢地区の植物相 (89-100) / 田中一雄：神奈川県にお
けるナガバノイタチシダの分布について (101-104) / 田中次郎・大森雄治：昭和20年代に横浜市本牧海岸で
採集された海藻—横浜市立大鳥中学校海藻標本— (105-109)
- 長野県自然保護研究所紀要 第2巻 1999年
(〒381-0075 長野市北郷2054-120 長野県自然保護研究所)
尾関雅章・松田行雄：天狗原湿原における19年間の植生変化 (13-21) / 藤原陸夫：長野県安曇野産スゲ属
植物の新雑種 (23-26) / 田所恭子：自然保護のあり方—法制度・諸問題・人々の動きから考える— (43-53)
/ 井田秀行：ガールスカウト戸隠キャンプ場の森林の構造とその保全 (71-76) / 須賀 丈：中部山岳高山帯
のシャクナゲ属2種に訪花するマルハナバチ—日本のマルハナバチ群集の長期モニタリングにむけて— (85-
91) / 浜田 崇：八方尾根黒菱平における1998年の積雪分布 (93-98) / 田所恭子：長野県南信地域にお
ける自然保護行政 (109-122) / 藤原陸夫：植物野外観察資料—長野県自然保護研究所周辺の植物相 (123-127)

○ 富山県中央植物園研究報告 第4号 1999年3月

(〒939-2713 富山県婦負郡婦中町上轡田 42 富山県中央植物園)

中田政司・熊谷明彦：岩手県で発見されたイワギク八倍体とその進化史的意味 (1-16) / 兼本 正：琉球列島産アリサンミズ (広義) の核型の多様性 (17-24) / 黒川 道：ヒメキウメノキゴケ属とハクテングケ属についての覚え書きおよび4新種の記載 (英文) (25-32) / 志内利明・兼本 正：絶滅危惧植物コナミキの新産地とその染色体数 (33-36) / 山下寿之：バクチノキの種子発芽 (37-42) / 山下寿之：富山県婦中町常楽寺のオオツクバネガシとツクバネガシ (43-46) / 中田政司：ワカサハマギクの自生地とその現状 (47-58) / 神戸敬成：絶滅危惧植物ミズアオイ (*Monochoria korsakowii* Regel & Maack.) の富山県内における分布について (59-66) / 大原隆明：富山県フロラ資料 3 (67-72)

○ 富山市科学文化センター研究報告 第22号 1999年3月

(〒939-8084 富山市西中野町 1-8-31 富山市科学文化センター)

根来 尚：金沢城跡 (旧金沢大学構内) におけるハナバチ類の訪花性 (55-79) / 太田道人：富山県シダ植物チェックリスト (115-125) / 佐藤 卓・平内好子・野口 泉：富山県氷見市床鍋のモミ林の森林構造 (127-133) / 佐藤 卓・平内好子・野口 泉：富山県宇奈月町黒薙のツガ林の森林構造 (135-141) / 太田道人：富山県新記録の植物 XII (149-150) / 石須秀和：富山県フロラに追加される植物 (151-152)

○ 富山の生物 第38号 1999年3月

(〒930-8555 富山市五福 3190 富山大学教育学部生物学研究室 富山県生物学会)

平内好子・佐藤 卓：富山県の針葉樹林におけるササラダニ群集 (1-12) / 佐藤 卓・澤田昭芳・野口 泉・平内好子：富山県立山周辺のオオシラビソ林の森林構造 (13-21) / 佐藤 卓：1998年全国ブナ結実状況 (23-28) / 長井幸雄：富山県植物雑記 (3) (65-79) / 長井幸雄：富山県植物雑記 (4) (81-82) / 水上哲夫：高岡市中田地区のアシツキの生育状況と生育環境 (87-91) / 若林一成：宇奈月ダム上流のトチノキの林について (93-96)

○ 富士竹類植物園報告 第42号 1998年8月

(〒411-0932 静岡県駿東郡長泉町南一色 885 日本竹笹の会)

沼田 真：竹林生態学雑録, XI (2-9) / 室井 紳：セタと竹 (10-14) / 片山 久：岡山県産竹笹類 第II報 (19-31) / 若山幸央：モウソウチクの異変 (43-47) / 川口公男・東出園朗・谷本温暉：筍園の親竹伐採年数と筍収量 (48-50) / 木附久登：竹酢液による害虫忌避効果について (51-54) / 渡辺政俊：クライミング型 *Chusquea quila* Kunth のブランピング・システム (55-63) / 佐久間光好：竹利用の床下調湿材 (64-75) / 浜田 甫：南九州地方の竹文化 (鹿児島県を中心として) (76-87) / 内村悦三：ラオスのタケ類とその利用 (88-94) / 村松幹夫：ミクラザサの開花結実の観察……記録 (100-113) / 水野外二：竹の不思議 (114-115) / 柏木治次：インドネシアの暮らしと竹 (116-123) / 浜田 甫：中国浙江省の竹製民具 (140-145) / 大穂 一：九州 JR 鹿児島本線、沿線の竹・笹 主に福岡県、熊本県の竹笹について (146-155) / 柏木治次：静岡県の竹文化 (2) — 静岡県の祭り (民俗歳時記) と竹 — (156-168) / 畠山精一：小、中学生への竹のアンケート調査 (173-179) / 室井 紳：竹の不思議 (187-191) / 三上信夫：笹の実の悲劇 (192-193) / 室井 紳：バンブー・ノート (37) (194-207)

○ 豊橋市自然史博物館研究報告 第8号 1998年3月

(〒441-3147 豊橋市大岩町字大穴 1-238 豊橋市自然史博物館)

黒田啓介：東海地方から産出する更新世ブナ化石について (1-8) / 須山知香・岩坪美兼・鳴橋直弘：愛知県産キイチゴ属 4 分類群 (バラ科) の染色体数 (9-16) / 吉川博章：瀝美層群より産出したシキミの果実化石 (29-32)

○ みねはな 第46号 1999年3月

(〒605-0926 京都市東山区今熊野北日吉町 61 みねはな会)

神野一郎：チャボツメレンゲ (1-3) / 高橋 亮：オオバウマノスズクサ—静岡・淡路島 (4-5) / 斎木保久：シダ淑女録 (6-10) / 岡島一允：書帯草について (11) / 片山泰雄：マツムラソウ (*Titanotrichum oldhamii*)

の自然繁殖の形態 (12-13) / 日原誠介: 日本レッド・データ・プランツ繁殖記 (2) (14-18) / 村田悠治: 魅せるマメ科の山草 (19-21) / 吉年祐一: 南米パタゴニア花紀行 (22-34) / 吉川直人: ニュージーランドの植物 (2) (35-37) / 石川 律: 奄美大島植物観察記 (38-40) / 橋本 薫: 雑草メロン (41-43) / 原野谷朋司: 腐生植物栽培の緒口がみえてきた (44-45) / 田中 清: ステゴビル (46-47) / 小川聖一: シコクカッコソウの実生栽培 (48-49) / 本庄哲二: 湯のみ (陶器) に穴をあける (50) / 森田至宏: 採集は絶対悪か (55-56) / 宮崎進平: フェノロジー Phenology について (57-58) / 吉年祐一: 富樫 誠さんを偲ぶ (59-63) / 神園英彦: 故富樫 誠師を偲んで (64) / 西口紀雄: 安倍 奥・大谷崩の山草選 (51) / 神園英彦: 湯湾岳 (奄美本島) とユワンツチトリモチ *Balanophora yuwanensis* (69-71) / 森田至宏: *Cyclamen* あれこれ (72-74) / 吉川直人: 中国少数民族の生活と自然観—森林との共生は現代に可能か (75-76) / 合田隆行: 落ち穂拾い—表大雪・旭岳を散策— (77-79) / 加藤公平: 花ばなの出会い (80-82) / 吉川直人: 異常気象と植物の「二度咲き」 (83-85) / 黒野俊夫: 西南極の陸産植物のすがた (1) —種子植物の南限に到達— (86-89) / 森 和男: キブネギク—本来の種の戸籍に迫る— (90-96) / 富士本久登: 古座川のシンテンウラボシ (97-99) / 富士本久登: 古座川のアイイワヒトデその後 (99)

○ 大阪市立自然史博物館研究報告 第53号 1999年3月

(〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23 大阪市立自然史博物館)

藤井仲二: 近畿地方産スズシロソウの新変種カワチスズシロソウ (英文) (43-52)

○ 自然史研究 第2巻第15号 1999年3月

(〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23 大阪市立自然史博物館植物研究室)

シンポジウム「21世紀に伝える近畿の植物と自然環境—レッドデータブック近畿2000年版をめざして—」記録集 村田 源: レッドデータブックと近畿の植物相—序にかえて— (207-208) / 芹沢俊介: 地方版レッドデータブックに求められるもの (209-213) / 藤井仲二: レッドデータブック作成と利用の課題 (214-216) / 藤井仲二・瀬戸 剛: 身近な植物の危機, 近畿地方の現状 (217-218) / 角野康郎: 絶滅危惧種の現状—水辺の植物を中心に— (219-224) / 梅原 徹: 植物保護と環境—保全へのアプローチ— (225-230) / 藤井俊夫 (編): 討論の記録 (233-236) / 藤井仲二・藤井俊夫: 近畿地方の植物分布図文献一覧 (予報) (237-244)

○ 和歌山県立自然博物館館報 第16号 1998年11月

(〒642-0001 和歌山県海南市船尾 370-1 和歌山県立自然博物館)

山本 晃: 和歌山県内のカヤツリグサ科スゲ属ナキリスゲ節の分布 (35-40)

○ 人と自然 第9号 1998年12月

(〒669-1546 兵庫県三田市弥生が丘 6丁目 兵庫県立人と自然の博物館)

藤井俊夫・服部 保・石田弘明: ハイノキの北限自生地における生育状況と地理分布 (19-26) / 石田弘明・服部 保・山戸美智子: 都市林の生態学的研究Ⅱ, 三田市フラワータウンにおける緑化樹木の孤立二次林への侵入 (27-31) / 青木京子・服部 保: 兵庫県におけるアカマツ林とコナラ林の種組成の比較 (73-78) / 浅見佳世・中尾昌弘・服部 保・武田義明・石田弘明: 三田市フラワータウンにおける戸建て住宅庭園の植物相 (115-125)

○ 広島市植物公園紀要 第18号 1999年3月

(〒731-5156 広島市佐伯区倉重三丁目 495 広島市植物公園)

井上尚子・関 太郎: 特定地域植生調査 (東郷山) 第三報—植物相のまとめ (1-60) / 濱谷修一・原田尋美・橋本清美: オニバスの生育に及ぼす光の影響 (61-66) / 島田有紀子・大寄 忠・橋本清美: 球根ペゴニアの組織培養における発根方法の改善 (67-70) / 橋本清美: ノビル系デンドロビウム交雑種の染色体数 (71-76)

○ 比婆科学 第88号 1998年12月

(〒727-0013 広島県庄原市西本町 1丁目 7-7 比婆科学教育振興会)

川名 興・斎藤勝彦: 茨城県久慈郡大子町の動植物方言と民俗 (25-32) / 川名 興・吉原 洋: 千葉県君津市正木の動植物方言 (33-39) / 窪田正彦: 広島県南部でのカラハナソウの発見 (41) / 田辺猪三: 庄原市峰

田町の植物方言 (42-44)

○ 徳島県立博物館研究報告 第9号 1999年3月

(〒770-8070 徳島市八万町向寺山徳島県文化の森総合公園 徳島県立博物館)

大原賢二：徳島県海部川流域のガガイモで発生したカバマダラ (53-56) / 大原賢二：アサギマダラの食草の記録 (57-60)

○ エヒメアヤメ (愛媛植物研究会誌) 第39号 1999年6月

(〒790-0007 愛媛県松山市堀之内 愛媛県立博物館内 愛媛植物研究会)

橋越清一：僧都川 (愛媛県御荘町) 河口の植生 (1-15) / 相原英二：愛媛県のミクリ属 *Sparganium* について (16-25) / 相原英二：肱川のヤナギ属 *Salix* について (26-33) / 相原英二・嶺田拓也：愛媛県に分布するオオバシナミズニラ (34-35) / 松尾秀邦：“有節植物” 雑記 (36-37) / 沖野登美雄：愛媛県産高等菌類 XII (38-46) / 藤田幹雄：愛媛県下新記録及び新産地のタケ科植物 (6) (47-48) / 得居 修：愛媛県産カヤツリグサ科植物雑記 (4) (49-55) / 相原英二：山本コレクションリスト (1) —レッドデータプランツリスト— (56-65) / 山本四郎：県下新記録植物 (29), 県下新産地植物 (28) (66-68) / 松井宏光・相原英二：愛媛県で記録された帰化・逸出植物 (69-120)

○ 北九州市立自然史博物館研究報告 第18号 1999年3月

(〒805-0061 北九州市八幡東区西本町三丁目6-1 北九州市立自然史博物館)

佐藤 保・小南陽 亮・斎藤 哲・新山 馨・真鍋 徹・田内裕之・野間直彦・山本進一：西南日本の照葉樹林に設定された綾リサーチサイト (大面積長期継続試験地) の紹介：その研究目的と試験設計 (英文) (157-180)

○ 鹿児島島の植物 第16号 1998年4月

(〒892-0871 鹿児島市吉野町帯迫 2635-3 初島住彦)

初島住彦：沢原高原の植物 (1-31) / 平田浩：県民の森の植物 (32-104) / 横川水城：奄美大島におけるレッドデータプラント6種の分布 (105-107) / 初島住彦：鹿児島県産植物新分布 (108-109) / 初島住彦：つる植物の新分類法に就て (110-126) / 竹迫賢一：牧園町産キヌガサギクの花の変化 (127-130) / 竹迫賢一：川内市に麻薬用の「ケン」を見る (131-132) / 丸野勝敏：種子島の植物分布2 (133-135) / 浜田英昭：疑問視される屋久島の植物 (136-137) / 満尾正廣：川内川河川敷 (菱刈〜えびの) の植物 (138-142) / 駒田暢男：ヤッコソウ (熊本県)・スマレ新産地 (143-144) / 駒田暢男：県内入荷の園芸植物抜粋 (145-148) / 細山田三郎：五台山 (中華人民共和国) 植物観察記 (1997) (149-152) / 細山田三郎：米国ハワイ州オアフ島 (ホノルル) 及びカウアイ島植物観察記 (1996) (153-154) / 杉本正流：彫刻の森の植物群落の概要 (155-157)

(編集部 中田政司編)